

小信中島連区

地域づくり協議会だより

* 発行者 小信中島連区地域づくり協議会広報広聴部会

節分祭 ～ 福豆まき～

2月7日(日)午後2時から堤治神社において節分祭が行われました。

晴天のもと時間前から境内には老若男女のたくさんの人たちが集まり、氏子青年会の皆さんの協力によって、今年の厄年会(二ツ屋・小信の卯辰会)の皆さんが袴(かみしも)を着て、設営された舞台の上から大きな太鼓に合わせて「福はうち、福はうち」の掛け声とともに福豆まきが行われました。

福豆まきは、幼児、小学生、シニア、一般と区分けして行われ、福豆の袋の中には豪華景品の引換券が入っているため、我先にと福豆袋を取り合っていました。

今年の豪華景品は、特賞、幼児:アンパンマンジャングルパーク、小学生:キャスターボード、シニア:ネスカフェバリスタ、一般:ダイソン掃除機で、他にも4等や5等まであり、さらに、等外でもティッシュ1箱が頂けるはずれなしの引換でした。

皆さん、たくさんの景品と「福」を持って、福々しい笑顔で春を迎えることができそうです。

まかれた豆を自分の年令の数、または、自分の年令の数より一つ多く食べると厄除けになり、体が丈夫になって風邪をひかないとも言われています。



抹茶の頂き方

1月16日(土)抹茶の頂き方の講習が小信中島女性の会主催で公民館において行われました。午前は大人、午後は子どもと分け、大人81名、子ども41名(小学校5、6年生が中心)のたくさんの参加がありました。

講師から、隣の席の人への挨拶、お菓子の取り方と食べ方、抹茶の飲み方などの指導を受けました。隣席の人への挨拶、菓子器の動かし方、懐紙の使い方、茶器の正面など、どれも日本人特有の「次の人への気配り、心配り」の大切さがあり、茶道を通して日本の伝統文化に触れる貴重な経験が出来ました。

初めて参加した子どもたちの感想には、甘い物は苦手ですが抹茶はおいしかった、とても苦かった、早くお饅頭が食べたかった、おもしろいので又参加したい、など聞くことが出来ました。

左義長

1月14日(木)堤治神社において、お正月に飾った門松、しめ飾り、書初めで書いたものなどを持ち寄り、それらを燃やして、その火にあたると病気をせず健康で暮らせるなど厄払いをして、今年一年の無事を祈る左義長神事が行なわれました。

お餅を焼いて食べたり、焼けた青竹の一片や灰を縁起物として持ち帰る人もいました。

なお、1月10日(日)には、我曾神明社、那迦島神社においても左義長が行われました。



初地蔵祭り

1月17日(日)午後2時から我曾地区の初地蔵祭りが太鼓の音とともに地区の皆さんが集まり、読経がなされ、地区の住民、特に子どもの平安が祈願されました。

なお、1月24日(日)には、中島地区、二ツ屋地区、小信地区のそれぞれの地蔵尊においても初地蔵祭りが行われました。



(二ツ屋地区)

(上下:我曾地区)

